



## 取組事例

(所定外労働削減)・(年休取得促進)・(仕事と家庭の両立)・(多様な正社員)・朝型の働き方  
・テレワーク)

企業名：山形信用金庫	所在地：山形県山形市鉄砲町 2-18-5
社員数：162名	業種：信用金庫



### 1 取組の目的

金融機関は残業が多く、職員一人一人が充実した生活を送るためにも、残業時間の削減、有給休暇の取得推進、働き方の柔軟化、職員の健康管理に取組むことを目的とする。

### 2 取組の概要

〈現在の取組〉

#### ○所定外労働時間の削減

- ・上司や同僚と同じ時刻まで職場に残ろうとすることが見られ、効率的に業務を遂行するため、平成 27 年 4 月から静脈認証による出退勤管理システムを導入した。
- ・平成 29 年 9 月から一週間に一度ノ一残業デーを実施、その後、更なる働き方改革を進めるため、平成 31 年 2 月からは原則一週間に二度ノ一残業デーを実施している。

#### ○年次有給休暇の取得推進

- ・年次有給休暇は、1 日、半日単位及び 1 時間単位での取得を平成 28 年 9 月から可能とした。

#### ○多様な正社員

- ・平成 29 年 4 月に育児短時間勤務制度を見直し、育児休業から復帰した職員が希望する勤務時間に柔軟に対応できるようにした。

#### ○職員の健康管理

- ・これまで各部店単位で対応が異なっていた受動喫煙対策を金庫全体で一斉に取組み、敷地内全面禁煙とした。
- ・産業医と密に連携を図り、人間ドック後の再検査・要精密検査の職員への受診勧奨を徹底するとともに、衛生委員会席上でも検査結果に関する議題を取り上げるなど健康づくりに役立てている。

### 3 取組みの効果と現状

- 慣習となっていた“つきあい残業“が減り、勤務時間内の生産性が向上した。  
また、導入直後の残業代については一時増加したものの、現在では導入前年に比べ3割弱の残業代が削減できている。
- 年次有給休暇の取得率は、平成26年度29.1%であったが、平成28年度は34.5%、平成29年度は41.43%、平成30年度は40.98%と以前に比べ取得率が上がっている。
- 従来は育児短時間勤務を希望した場合、勤務パターンが一つしかなかったため制度を利用しづらかった（利用者0人）が、職員一人ひとりの希望に合わせ、30分単位で最大2時間まで利用できるよう制度を見直した結果、現在まで4名の職員が育児休業後の職場復帰の際に利用している。
- 金庫全体での受動喫煙対策により、非喫煙者の健康が守られるのはもちろんのこと、敷地内全面禁煙になったことで喫煙者も1日の喫煙本数が減少や禁煙にチャレンジするなどの効果が表れている。
- 再検査の受診勧奨を徹底したことにより、従業員自らが健康に気を付けるように意識付けが図られた。
- これまでの様々な健康に関する取組（ノー残業デー、バースデーケーキプレゼント、インフルエンザ予防接種助成金の支給、アルコール消毒液・超音波加湿器の設置、乳がん・子宮がん検診の無料実施、受動喫煙対策、職場健康づくり宣言の認定等）が評価され、2019年には東北地区管内の信用金庫として初めて“健康経営優良企業”の認定を受けることができた。

### 4 今後の取組

- 男性職員が育児休業を取得しやすい環境を作るため制度等の見直しを検討する。
- メンタルヘルスの対策に向けた研修の実施を検討する。